

2026 年度 授業時間割検索ガイドブック

<はじめに>

このガイドブックには、時間割の検索方法を紹介するだけでなく、各授業科目における「履修上の注意」等を掲載しています。学生各位においては入学時に配付された『履修案内』と併せ、このガイドブックに記載してある事項をよく読み、履修登録を行なってください。

□ 東京外国語大学「シラバス検索」URL :

<https://gakumu-web1.tufs.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SylSearchMain.aspx>

<目次>

1 教務課からのお知らせ・よくある質問 (FAQ)	1
---------------------------------	---

第1部 言語文化学部・国際社会学部

・ 授業時間割の検索方法	3
・ 世界教養プログラム〔基礎科目／教養科目／言語科目／地域科目〕	5
・ 専修プログラム〔導入科目／概論科目／専門科目〕	19

第2部 国際日本学部

・ 授業時間割の検索方法	23
・ 世界教養プログラム〔基礎科目／教養科目／言語科目〕	25
・ 専修プログラム〔多文化協働科目／社会連携科目〕	38
・ 専修プログラム〔導入科目／概論科目／専門科目〕	38

※教職科目は、学務情報システムログイン後、画面右上の「マニュアル」ボタンを押下して『教職ガイド 2026.pdf』を確認してください。

※2018 年度以前に入学した学生で、履修すべき科目が不明の場合は教務課までご相談ください。

教務課からのお知らせ・よくある質問 (FAQ)

教務課からのお知らせ

1. 時間割 (学期・曜日・時限・担当教員・使用言語・開講形態等)、教室は変更があり得ますので、必ず Web シラバス検索画面や掲示等を通じて、最新の情報を確認してください。
2. 教室に授業担当教員の研究室が指定されている場合は、学務情報システムマニュアルページに掲載している「教員別オフィスアワー一覧」により、各授業担当教員の研究室の場所を確認してください。
3. 実際には教室を使用しない授業開講形態 (オンライン/オンデマンド) も、Web シラバス検索画面の教室欄に情報を掲載しています。
4. 集中講義 (夏・冬学期) の授業開講形態と教室については、別途大学ホームページに掲載する集中講義日程表にてご確認ください。

よくある質問

Q1: 授業担当教員に連絡を取りたいのですが、連絡先を教えてくださいませんか？

A1: 担当する教員が常勤教員の場合は、学務情報システムマニュアルページに掲載している「教員別オフィスアワー一覧」にメールアドレスの記載がありますので、各自ご確認ください。非常勤講師の連絡先については、個人情報の観点から、学生の皆さんには開示しておりません。原則として、教務課では取次ぎを行いませんので、可能な限り、授業内で直接コンタクトを試みてください。

Q2: 学務情報システムにログインできません。

A2: パスワードを手入力している場合は、大文字・小文字を間違えて入力していないかを確認してください。ブラウザの自動入力機能を利用している場合は、大学の別のサイトで入力したパスワードが入っている可能性があります。ブラウザに保存されているパスワードを確認して不必要なものを削除した上で再度ログインするか、別のブラウザを使ってログインができるか確認してください。パスワードがわからなくなった場合は、すぐに総合情報コラボレーションセンター (附属図書館 4 階) に問い合わせてください。

第1部 言語文化学部・国際社会学部

School of Language and Culture Studies

School of International and Area Studies

本章に掲載されている表の情報（学期・曜日・時限・開講形態・担当教員・教室等）は、今後変更となることがあります。

最新の情報については、必ず Web シラバス検索画面を通じて確認してください。

授業時間割の検索方法（言語文化学部・国際社会学部）

1. 科目ナンバリングとは

授業科目について、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示するものです。本学で開講されている授業科目の分類を表し、以下①～②で構成されています。

① 科目区分

番号 (19+) ※	レベル	開講学部 ★	授業科目群	授業科目区分
100000 番台	—	世界教養プログラム	基礎科目	基礎科目
			教養科目	現代教養科目 自然科学系科目 教養日本力科目 スポーツ身体科目 世界言語科目 キャリア・協働科目 臨地学修科目
			言語科目	専攻言語科目 GLIP 英語科目 教養外国語科目 諸地域言語科目
			地域科目	地域基礎科目
200000 番台	入門	言語文化学部 (専修プログラム)	導入科目	導入科目
300000 番台	中級		概論科目	概論科目
400000 番台	上級		国際社会学部 (専修プログラム)	専門科目
		専門演習		
		卒業研究演習		
			卒業研究	

② 使用言語

使用言語	記号	備考
日本語	J	左記、科目ナンバリングの記号で記載される言語は原則として使用されるものです。詳細はシラバスに記載されています。
英語	E	
日本語・英語以外の言語	O	

2. 授業時間割の検索方法

【開講科目検索】

開講科目検索

入学年度	202 ⁶ 年度
開講期	
開講年度	202 ⁶ 年度
開講学期	-----
開講学部	-----
時間割	
授業科目区分	階層1 ----- 階層2 ----- 階層3 -----
曜日	<input type="checkbox"/> 月曜日 <input type="checkbox"/> 火曜日 <input type="checkbox"/> 水曜日 <input type="checkbox"/> 木曜日 <input type="checkbox"/> 金曜日 <input type="checkbox"/> 土曜日
時限	<input type="checkbox"/> 1時限 <input type="checkbox"/> 2時限 <input type="checkbox"/> 3時限 <input type="checkbox"/> 4時限 <input type="checkbox"/> 5時限
時間割コード	
講義棟名	-----
教室名	-----
対象年次	-
授業開講形態	-----
授業形態	-----
使用言語	-----
授業題目の表示	<input checked="" type="checkbox"/> 授業題目を表示する

① ご自身が入学した年度を選択します。

② 前ページ「★」から開講学部を選択します。
※ 2026 年度に開講されている授業を調べる場合は、「開講年度」欄は「2026 年度」のまま変更しなくて大丈夫です。

③ 次ページ以降に記載されている授業科目群・授業科目区分ごとの入力方法をよく読んだ上で、階層の選択肢を絞り込み、検索してください。

【検索結果画面】

授業科目区分	教養科目 現代教養科目	PDF出力 (印刷)			
		表示件数 30件毎			
履修コード	科目名	担当教員名 授業題目	クラス 使用言語	開講期	曜日時限 教室割
1	19180001 市民社会と協働1	倉方 慶明 [KURAKATA Yoshiaki] 市民社会と文書管理	日本語	春学期	水5 わ51
2	19180006 国際社会と地域1	柏崎 正憲 [KASHIWAZAKI Masanori] グローバル化を多面的に理解する	日本語	春学期	水3 1 0 2
3	19180007 国際社会と地域1	森田 京子 [MORITA Kyoko]	英語	春学期	金4 3 0 6
4	19180008 国際社会と地域1	富田 麻理 [TOMITA Mari]	英語	春学期	金2 3 0 7
5	19180009 国際社会と地域1	青山 弘之 [AOYAMA Hiroyuki] 中東を理解するキーワード	日本語	春学期	水5 わ51
6	19180011 国際社会と地域1	ヤップ [Cherry Amor Yap]	英語	春学期	木5 2 0 7

次ページ以降、授業科目区分ごとに開講授業の一覧を表示させるための選択項目の組み合わせを表にまとめています。科目検索の際、ご活用ください。なお、科目検索に際しては、入学時に配付された履修案内と照らし合わせながら行なってください。

基礎科目

■ 基礎リテラシー

[時間割検索時入力項目]

開講学部	授業科目群・授業科目区分 (階層1)	詳細区分 (階層2)
世界教養プログラム	基礎科目	基礎リテラシー

<受講にあたっての注意事項>

- ・ 基礎リテラシーは1年次の学生を対象とした必修科目であり、修得していなければ3年次に進級できません(1年次で修得できなかった場合は、2年次で修得してください)。
- ・ 既修得単位認定により単位が認定された場合は、受講の必要はありません。
- ・ 所属学部によりクラス分けをしています。必ず指定されたクラスを受講してください。

■ 基礎演習

[時間割検索時入力項目]

開講学部	授業科目群・授業科目区分 (階層1)	詳細区分 (階層2)
世界教養プログラム	基礎科目	基礎演習 (2021年度以降入学者)

<受講にあたっての注意事項>

- ・ 基礎演習は1年次の学生を対象とした必修科目であり、修得していなければ3年次に進級できません(1年次に修得できなかった場合は、2年次で修得してください)。
- ・ 既修得単位認定により単位が認定された場合は、受講の必要はありません。
- ・ 基礎演習は、春学期中に履修方法について案内が出るので大学ホームページを確認してください。

教養科目

[時間割検索時入力項目]

開講学部	授業科目群 (階層1)	授業科目区分 (階層2)	詳細区分 (階層3)
世界教養プログラム	教養科目	現代教養科目	—
		自然科学系科目	—
		教養日本力科目	—
		スポーツ身体科目	—
		世界言語科目	—
		キャリア・協働科目	—
		臨地学修科目	—

<受講に際しての注意事項>

■ 世界言語科目

- ・ 世界言語科目は2年次以上の学生のみ履修可能です。
- ・ 「アジアの言語 1」(授業題目名: ブラーフイー語) を履修する場合は、必ず時間割コード「19180191」及び「19180192」を両方履修登録してください。
- ・ 「オアシア・アメリカの言語 1」(授業題目名: ナワトル語) を履修する場合は、必ず時間割コード「19180203」及び「19180204」を両方履修登録してください。

■ スポーツ身体科目

- ・ 新年度開講時、スポーツ身体科目を履修希望する学生向けにガイダンスが開催されます。受講に際し参加が必須となる場合がありますので、大学ホームページや掲示を確認してください。

■ キャリア・協働科目 / 臨地学修科目

「キャリア・協働科目」や「臨地学修科目」を中心に、一部の科目においては学務情報システム上での履修登録に加え、担当教員の指示等により別途独自のフォームに登録が必要なものや、ガイダンスが開催される科目があります。シラバスや大学ホームページでの案内、担当教員からの連絡をこまめに確認してください。

■ 教養科目全般 (Simple English について)

教養科目のうち、以下の授業は、英語のみによる講義に慣れていない学生向けに、より平易な英語で開講されます。成績は原則英語力ではなく、授業への取り組みによって評価されます。

時間割コード	科目名	担当教員	開講時期
19180006	国際社会と地域 1	森田 京子	春学期・金曜 4 限
19180020	国際社会と地域 2	森田 京子	秋学期・金曜 4 限
19180014	国際社会と地域 1	奥山 ルシンダ	夏学期・集中
19180078	文化と芸術 2	ティンダル	秋学期・月曜 2 限
19180120	日本の現在を知る 2	ヤン ズィー	秋学期・火曜 4 限

言語科目

■ 専攻言語科目

専攻言語科目を履修登録する前に、以下の用語の定義について、理解してください。そのうえで、各学生は自分が専攻する言語（専攻言語）を「非モジュール」「モジュール」どちらの方法により単位修得する必要があるのか、履修案内で必ず確認してください。

<用語の定義>

用語	定義
非モジュール	第1年次において1年を通じて文法・会話・作文・講読等の授業科目（専攻言語Ⅰ）を開講し、一括して10単位を修得することが必要な専攻言語科目の履修方法。専攻言語Ⅱ～専攻言語Ⅲは1単位ずつの認定となる。
モジュール	学期単位で文法・会話・作文・講読等のジャンルと難易度により授業を編成し、専攻言語Ⅰ～専攻言語Ⅲを通じて、各授業ごとに1単位ずつ単位を修得する専攻言語科目の履修方法。

□ 専攻言語科目（非モジュール言語科目）

〔時間割検索時入力項目〕

開講学部	授業科目群 (階層1)	授業科目区分 (階層2)	詳細区分 (階層3)
世界教養 プログラム	言語科目	非モジュール 言語科目	専攻言語Ⅰ～Ⅲ（英語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（ドイツ語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（フランス語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（イタリア語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（スペイン語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（ポルトガル語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（ロシア語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（中国語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（アラビア語）

<非モジュール言語科目の「専攻言語Ⅰ」について>

- ・ 非モジュール言語科目を専攻言語とする学生の「専攻言語Ⅰ」は一括認定となり、年度末にまとめて成績が開示されますが、各曜限における個別の科目については学生自身が登録する必要がありますので、注意してください。

<アフリカ地域・オセアニア地域専攻の学生向け「言語科目」の履修方法>

アフリカ・オセアニア地域専攻の学生は、専攻言語の履修方法が「モジュール」となりますので、注意してください。詳細は、次項の「専攻言語科目（モジュール言語科目）」の時間割検索時入力項目に掲載している「専攻言語（英語）Ⅰ～Ⅱ（アフリカ・オセアニア地域）」を検索の上、各自履修してください。

また、p.12以降にオセアニア地域専攻学生の言語科目の履修方法について詳述していますのでご確認ください。

※ オセアニア地域専用クラスは、アフリカ地域の学生は履修できません。

※ アフリカ地域専用クラスは、オセアニア地域の学生は履修できません。

<専攻言語（英語Ⅲ）の履修について>

次ページに履修上の注意が記載されていますので、これらの科目を履修する学生は必ず確認してください。

英語Ⅲの履修について

言語文化学部 北西ヨーロッパ地域、北アメリカ地域
国際社会学部 北西ヨーロッパ地域、北アメリカ地域

英語Ⅲの授業は、その授業の内容によって以下の4つのグループに分けて開講されています。

(グループ1)

主として Speaking や Writing のスキルを訓練することに重点を置いた内容の授業。
英語Ⅲ-1 および英語Ⅲ-2。

(グループ2)

主として英語学および英語教育学の内容に重点を置いた授業。
英語Ⅲ-3 および英語Ⅲ-4。

(グループ3)

主として英米文学および文化に重点を置いた授業。
英語Ⅲ-5 および英語Ⅲ-6。

(グループ4)

主として地域や国際関係または社会科学系の内容を扱う授業。
英語Ⅲ-7 および英語Ⅲ-8。

(一部の授業はこの原則に従っていないものも含まれています。)

学生の皆さんは自分の関心に応じて、3～4年次に開講されている授業の中から以下の基準に従って履修計画を立ててください。

(1) (グループ1)の授業から2単位を、(グループ2)(グループ3)(グループ4)の授業から6単位を履修して、それぞれの卒業所要単位を充足することが望ましい。

(2) 履修年次について3年次または4年次のどちらかに偏った履修をするのではなく、分散して履修することを強く推奨します。標準的な履修単位は、3年次に4単位、4年次に4単位となっています。

(3) 授業の効果を保証するために受講希望者の多い授業は初回の授業で選抜を行ない受講人数を制限しますので、自分の受講したい授業は初講日に必ず出席してください。

□ 専攻言語科目（モジュール言語科目）

〔時間割検索時入力項目〕

開講学部	授業科目群 (階層 1)	授業科目区分 (階層 2)	詳細区分 (階層 3)
世界教養 プログラム	言語科目	モジュール 言語科目	専攻言語Ⅰ～Ⅲ（ポーランド語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（チェコ語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（モンゴル語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（インドネシア語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（マレーシア語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（フィリピン語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（タイ語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（ラオス語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（ベトナム語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（カンボジア語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（ビルマ語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（ウルドゥー語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（ヒンディー語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（ベンガル語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（ペルシア語）
			専攻言語Ⅰ～Ⅲ（トルコ語）
専攻言語（ウズベク語）			
専攻言語Ⅰ～Ⅱ（英語） （アフリカ・オセアニア地域） 〔2019年度～2021年度入学者用〕 〔2022年度以降入学者用〕			

アフリカ・オセアニア地域専攻の学生へ
2019年度～2021年度入学生と、2022年度
以降入学生で時間割コードを分けていますの
で、履修登録の際は注意してください。

<モジュール制専攻言語科目の履修方法について>

- モジュール制専攻言語科目の履修にあたっては、担当教員の指示に従って履修してください。
詳細は、本学ホームページの下記 URL を参照してください。

■ 東京外国語大学 HP → 「在学生の方へ」 → 「授業・履修」 → 「履修上の注意」
「専攻言語 & 諸地域言語：モジュール制言語科目の履修上の注意（2019年度以降入学者）」
https://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/kaikokamoku/attention/index.html

オセアニア地域 言語科目の履修について

2022年度以降入学者

基本的に以下の要領で専攻言語および必修言語または教養外国語を履修すること。

(1) 専攻言語 (英語)

1年生

英語 10単位 アフリカ地域と共通2コマ、独自8コマ

2年生

英語 6単位

(2) 諸地域言語および必修教養外国語

第1年次から4年次までの間に下記の言語のうち一つを選び、その言語を最低8単位履修すること (同一言語の最低8単位履修が必須となる)

諸地域言語 (マレーシア、インドネシア、フィリピン)

教養外国語 (フランス、中国)

教養外国語の履修方法は、教養外国語の履修指導に従うこと。諸地域言語の履修方法は、各語専攻の指定するコマを履修すること。

8単位を超えてこれらの言語を履修したい場合は、各言語教育の担当者に相談すること。

以上の他に、「オセアニア諸語」の履修を推奨する。

2019～2021年度入学者

基本的に以下の要領で専攻言語および必修言語または教養外国語を履修すること。

(1) 専攻言語 (英語)

1年生

英語 8単位 アフリカ地域と共通

GLIP 英語 2単位 Interactive English (この Interactive English については、入学後の TOEIC-IP の試験の結果によりクラス分けがあるので、そのクラスを履修すること。)

2年生

英語 4単位

GLIP 英語 2単位 Academic English (Theme Based)の指定された授業

※GLIP 英語科目については、GLIP デスクから配付される『GLIP 履修ガイド』を参照してください。

(2) 諸地域言語および必修教養外国語

第1年次から4年次までの間に下記の言語のうち一つを選び、その言語を最低8単位履修すること (同一言語の最低8単位履修が必須となる)

諸地域言語 (マレーシア、インドネシア、フィリピン)

教養外国語 (フランス、中国)

教養外国語の履修方法は、教養外国語の履修指導に従うこと。諸地域言語の履修方法は、各語専攻の指定するコマを履修すること。

8単位を超えてこれらの言語を履修したい場合は、各言語教育の担当者に相談すること。

以上の他に、「オセアニア諸語」の履修を推奨する。

■ GLIP 英語科目

[時間割検索時入力項目]

開講学部	授業科目群 (階層 1)	授業科目区分 (階層 2)	詳細区分 (階層 3)
世界教養プログラム	言語科目	GLIP 英語科目	—

<受講に際しての注意事項>

- ・ 履修に際しては、GLIP デスク作成の「GLIP 履修ガイド」を併せてご参照ください。
- ・ 英語 B7 及び英語 B8 は教職課程を履修する学生を対象として開講される科目です。

■ 教養外国語科目

[時間割検索時入力項目]

開講学部	授業科目群 (階層 1)	授業科目区分 (階層 2)	詳細区分 (階層 3)
世界教養プログラム	言語科目	教養外国語科目	ドイツ語
			フランス語
			イタリア語
			スペイン語
			ロシア語
			中国語
			朝鮮語
			アラビア語
ポルトガル語			

<受講に際しての注意事項>

- ・ 履修に際しては、次ページの「教養外国語の履修について」を確認してください。

■ 諸地域言語科目

[時間割検索時入力項目]

開講学部	授業科目群 (階層 1)	授業科目区分 (階層 2)	詳細区分 (階層 3)
世界教養プログラム	言語科目	諸地域言語科目	—

<受講に際しての注意事項>

- ・ 履修に際しては、以下 URL を参照してください。

■ 東京外国語大学 HP → 「在学生の方へ」 → 「授業・履修」 → 「履修上の注意」
「専攻言語&諸地域言語: モジュール制言語科目の履修上の注意 (2019 年度以降入学者)」
https://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/kaikokamoku/attention/index.html

教養外国語の履修について

- 1年に1言語あたり4単位まで登録できます。
- AとBの組み合わせは自由ですが、学習したことがない言語の場合、A・Bの同時履修は薦められません。
- 卒業要件の必修単位として履修する場合は、Bを2単位以上含めてください。

★「ドイツ語」 責任者：西岡 あかね

ドイツ語Aは「文法」と「総合」の組み合わせ、または「文法」と「会話」の組み合わせで履修してください。

★「フランス語」 責任者：田邊 佳美

フランス語A（初級）の履修者は必ず「文法」の授業を1つ以上履修してください（「文法」の授業をとらないと、その他のフランス語の授業の単位が無効になるというわけではありませんが、教育効果の点で「文法」の授業を併せて履修することを強く推奨します）。フランス語B（上級）の履修はフランス語A（初級）修了者の水準を前提とします。

同じ先生が春・秋と連続して授業を開講している場合には、秋学期の授業が、春学期の授業での学習を前提にしている場合があります。担当の先生によって授業の力点や方向性が異なるため、シラバスをよく読み、初回の授業に参加するなどして、授業内容をよく理解した上で履修してください。なお、Aレベルの中でA1～A4と4種類の科目名がありますが、この数字は便宜上のものでレベルの差はありません。組み合わせ方は自由です。

★「イタリア語」 責任者：小田原 琳

「イタリア語A」は、春学期・秋学期とも、同一曜日の授業はそれぞれ同一の内容です。水曜日と金曜日は連動しているので、水曜日3・4限と金曜日4・5限のいずれかを組み合わせで履修してください（水曜3限と金曜4限、水曜4限と金曜5限など）。また、秋学期の内容は春学期を引き継ぐので、初学者は春学期と秋学期を連続して履修してください。なお、その際、春学期と同一時限である必要はありません。

「イタリア語B」は、「イタリア語A（春・秋）」を終えた学習者向けのレベルです。「イタリア語B」の水曜日（会話中心）と金曜日（文法中心）の授業は連動していないので、どちらかだけを履修しても構いません。

★「スペイン語」 責任者：内山 直子

Aレベルの中でA1～A4と四種類の授業があるように見えますが、この数字は便宜上のもので、レベルの差はありません。組み合わせ方は自由です。担当の先生によって授業の力点や方向性が異なるため、シラバスをよく読み、授業内容をよく理解した上で履修してください。ただし担当教員の判断で履修人数を制限することがあります。履修を希望する場合、必ず初回の授業に参加するようにしてください。Aレベルについて同じ学期に2コマ以上履修する場合は、異なるシラバス内容の授業を履修してください。また、原則として春学期・秋学期ともに同じ先生の授業を続けて履修してください。

★「ロシア語」 責任者：巽 由樹子

(1) ロシア語A1・A2（火曜5限）とA3・A4（金曜4限）は、共通の教科書を使うリレー形式での授業です。履修希望者は、必ずその両方を同時並行で受講してください。

(2) ロシア語B1～B4は、A1～A4を終えた学習者向けのレベルです。

まずはA1とA3から始めて、次にA2とA4、さらにB1とB3、B2とB4、というように、段階を踏んで履修すると、最大の学習効果が得られるようにカリキュラムが組まれています。

★「中国語」 責任者：倉田 明子

(1) 各授業のカテゴリは、「中国語A1・A2」が文法（初級）、「中国語A3・A4」が初級会話、「中国語B1・B2」が上級会話、「中国語B3・B4」は読解とスーパーB（さらなる上位の会話クラス）です。同一の科目名の授業は、たとえ開講曜日時限と講師が異なっても、同一のテキストで同一内容の授業が行われます（ただし読解とスーパーBについてはテキストは別）ので、同一の科目名の授業を重複して履修せず、必ず異なるカテゴリの授業を組み合わせで履修してください。

(2) 中国語を初めて学ぶ場合には、A1とA3から始めて、次にA2とA4、さらにB1とB3、B2とB4、というように、段階を踏んで履修すると、最大の学習効果が得られるようにカリキュラムが組まれています。なお、テキストは、A1・A2で1冊、A3・A4で1冊、B1・B2で1冊、B3・B4で1冊をそれぞれ使用します。

★「朝鮮語」 責任者：五十嵐 孔一

	月		火		水		木		金	
	初級	中級	初級	中級	初級	中級	初級	中級	初級	中級・上級
3					阪堂					
4	五十嵐	呉	國分・金		阪堂・寄田	富所	鄭		阪堂・宋	韓（中級）
5	呉		金		富所・寄田		鄭		阪堂・宋	韓（上級）

(1) 同一教員の授業が同じ曜日に連続して開講されている場合は同時履修せず、どちらか1つを履修して下さい。

(2) 初級では韓国語母語話者教員（月曜日：呉、火曜日：金、木曜日：鄭、金曜日：宋）と日本語母語話者教員（月曜日：五十嵐、火曜日：國分、水曜日：阪堂・寄田・富所）の授業をそれぞれ1つ以上履修して下さい。

(3) Aの初級は初めて学ぶ人、Bの中級は初級を終了した人、上級は中級以上の能力を有し、さらに上級を目指す人を対象にします。

★「アラビア語」 責任者：青山 弘之

(1) アラビア語Aは「文法」各学期1コマと「読解・会話・作文」各学期1コマの合わせて各学期2コマを履修してください。なお、アラビア語Aについては「文法」および「読解・会話・作文」が各学期に2コマずつ開講されています。各クラスの人数が偏った場合、受講者数の調整を行う可能性がありますので、第1回の授業には必ず出席してください。

(2) アラビア語Bは「読解・会話・作文」各学期2コマを合わせて履修してください。

☆「ポルトガル語」 責任者：水沼 修

ポルトガル語 A は月曜 4 限と木曜 4 限が初級レベルの授業です。「初級文法」に関しては、春学期月曜 4 限 A 1 と春学期木曜 4 限 A3, さらに秋学期月曜 4 限 A2 と木曜 4 限の A4 は連続した内容になるので、A1-A3-A2-A4 の順に必ず履修してください。また A1 と A3、A2 と A4 は連動しますので、必ず両方を同時に履修してください。なお、ポルトガル語 B には履修制限や学期による継続性はありません。

地域科目

[時間割検索時入力項目]

開講学部	授業科目群 (階層 1)	授業科目区分 (階層 2)	詳細区分 (階層 3)
世界教養 プログラム	地域科目	地域基礎科目	北西ヨーロッパ
			北アメリカ
			オセアニア
			中央ヨーロッパ
			西南ヨーロッパ
			イベリア
			ラテンアメリカ
			ロシア
			中央アジア
			東アジア
			東南アジア
			南アジア
			中東
アフリカ			

<地域科目の履修に際しての注意事項>

- ・ 地域科目の履修にあたっては、担当教員の指示に従って履修してください。
- ・ 履修方法の詳細は、本学ホームページにおける下記 URL を参照してください。

■ 東京外国語大学 HP → 「在学生の方へ」 → 「授業・履修」 → 「履修上の注意」
「地域基礎科目の履修上の注意 (2019 年度以降入学者)」

https://www.tufs.ac.jp/student/lesson_course/kaikokamoku/attention/index.html

- ・ Web シラバス検索画面で地域科目を指定して検索すると、各授業におけるクラス欄に次ページ記載の専攻言語の略記号が表示されます。各自、履修すべき科目をよく確認してください。

<専攻言語による受講指定の略記号>

専攻言語記号	専攻言語	地域
E (NW, NA, OC)	英語	北西ヨーロッパ
		北アメリカ
		オセアニア
D	ドイツ語	中央ヨーロッパ
PL	ポーランド語	
Cz	チェコ語	
F	フランス語	西南ヨーロッパ
I	イタリア語	
S	スペイン語	イベリア・ラテンアメリカ
Po	ポルトガル語	
R (ロシア)	ロシア語	ロシア
R (中央アジア)	ロシア語	中央アジア
M	モンゴル語	中央アジア
C	中国語	東アジア
K	朝鮮語	
B	ビルマ語	
Ca	カンボジア語	東南アジア
In	インドネシア語	
L	ラオス語	
Ma	マレーシア語	
Ph	フィリピン語	
T	タイ語	
V	ベトナム語	
U	ウルドゥー語	
H	ヒンディー語	
Bn	ベンガル語	
A	アラビア語	中東
Pr	ペルシア語	
Tr	トルコ語	
AF	英語	アフリカ

導入科目

■ 導入科目（言語文化学部）

〔時間割検索時入力項目〕

開講学部	授業科目群・授業科目区分 (階層 1)	詳細区分 (階層 2)
言語文化学部	導入科目（言語文化学部）	地域コース・超域コース 共通

■ 導入科目（国際社会学部）

〔時間割検索時入力項目〕

開講学部	授業科目群・授業科目区分 (階層 1)	詳細区分 (階層 2)
国際社会学部	導入科目（国際社会学部）	地域社会研究コース
		現代世界論コース
		国際関係コース

概論科目

■ 概論科目（言語文化学部）

〔時間割検索時入力項目〕

開講学部	授業科目群・授業科目区分 (階層1)	詳細区分 (階層2)
言語文化学部	概論科目（言語文化学部）	地域コース・超域コース 共通

■ 概論科目（国際社会学部）

〔時間割検索時入力項目〕

開講学部	授業科目群・授業科目区分 (階層1)	詳細区分 (階層2)
国際社会学部	概論科目（国際社会学部）	地域社会研究コース
		現代世界論コース
		国際関係コース

専門科目

■ 専門科目 (言語文化学部)

[時間割検索時入力項目]

開講学部	授業科目群 (階層1)	詳細区分 (階層2)
言語文化学部	専門科目 (言語文化学部)	地域コース
		超域コース

※ 言語文化学部の専門科目は、「講義」「専門演習」「卒業研究演習」「卒業研究」の4つの授業科目区分から構成されていますが、時間割検索画面は専門科目をコース別に表示するのみの仕様としています。履修案内（巻末に掲載されている規程）を参照の上、授業科目名から対応する授業科目区分を確認するようにしてください。

■ 専門科目 (国際社会学部)

[時間割検索時入力項目]

開講学部	授業科目群 (階層1)	詳細区分 (階層2)
国際社会学部	専門科目 (国際社会学部)	地域社会研究コース
		現代世界論コース
		国際関係コース

※ 国際社会学部の専門科目は、「講義」「専門演習」「卒業研究演習」「卒業研究」の4つの授業科目区分から構成されていますが、時間割検索画面は専門科目をコース別に表示するのみの仕様としています。履修案内（巻末に掲載されている規程）を参照の上、授業科目名から対応する授業科目区分を確認するようにしてください。

第 2 部 国際日本学部

School of Japan Studies

本章に掲載されている表の情報（学期・曜日・時限・開講形態・担当教員・教室等）は、今後変更となることがあります。

最新の情報については、必ず Web シラバス検索画面を通じて確認してください。

授業時間割の検索方法（国際日本学部）

1. 科目ナンバリングとは

授業科目について、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示するものです。本学における授業科目の分類を表し、以下①～②で構成されています。

① 科目区分

番号	レベル	開講学部	授業科目群	授業科目区分
100000 番台 (+19) ※	—	世界教養 プログラム	基礎科目	基礎科目
			教養科目	現代教養科目 自然科学系科目 教養日本力科目 スポーツ身体科目 世界言語科目 キャリア・協働科目 臨地学修科目
			言語科目	基礎日本語科目 専門日本語科目 GLIP 英語科目 教養外国語科目 諸地域言語科目
19J1000 番台	入門	専修プログラム	協働実践科目	多文化協働科目
19J3000 番台				社会連携科目
19J2000 番台			導入科目	導入科目
19J3000 番台	中級		概論科目	概論科目
19J4000 番台	上級		専門科目	講義 専門演習 卒業研究演習 卒業研究

② 使用言語

使用言語	記号	備考
日本語	J	左記、科目ナンバリングの記号で記載される言語は原則として使用されるものです。詳細はシラバスに記載されています。
英語	E	
日本語・英語以外の言語	O	

2. 授業時間割の検索方法

【開講科目検索画面】

開講科目検索

入学年度	202 5 年度	① ご自身が入学した年度を選択します。
開講期		
開講年度	202 5 年度	② 前ページ「★」から開講学部を選択します。 ※ 2026年度に開講されている授業を調べる場合は、「開講年度」欄は「2026年度」のまま変更しなくて大丈夫です。
開講学期		
開講学部		
時間割		
授業科目区分	階層1 _____ 階層2 _____ 階層3 _____	③ 次ページ以降に記載されている授業科目群・授業科目区分ごとの入力方法をよく読んだ上で、階層の選択肢を絞り込み、検索してください。
曜日	<input type="checkbox"/> 月曜日 <input type="checkbox"/> 火曜日 <input type="checkbox"/> 水曜日 <input type="checkbox"/> 木曜日 <input type="checkbox"/> 金曜日	
時限	<input type="checkbox"/> 1時限 <input type="checkbox"/> 2時限 <input type="checkbox"/> 3時限 <input type="checkbox"/> 4時限 <input type="checkbox"/> 5時限	
時間割コード		
講義棟名		
教室名		
対象年次	-	
授業開講形態		
授業形態		
使用言語		
授業題目の表示	<input checked="" type="checkbox"/> 授業題目を表示する	

【検索結果画面】

授業科目区分	教養科目 現代教養科目	PDF出力 (印刷)	表示件数 [30件毎]		
履修コード	科目名	担当教員名 授業題目	クラス 使用言語	開講期	曜日時限 教室割
1 19180001	市民社会と協働1	倉方 慶明 [KURAKATA Yoshiaki] 市民社会と文書管理	日本語	春学期	水5 ワラｲ
2 19180006	国際社会と地域1	柏崎 正憲 [KASHIWAZAKI Masanori] グローバル化を多面的に理解する	日本語	春学期	水3 1 0 2
3 19180007	国際社会と地域1	森田 京子 [MORITA Kyoko]	英語	春学期	金4 3 0 6
4 19180008	国際社会と地域1	富田 麻理 [TOMITA Mari]	英語	春学期	金2 3 0 7
5 19180009	国際社会と地域1	青山 弘之 [AOYAMA Hiroyuki] 中東を理解するキーワード	日本語	春学期	水5 ワラｲ
6 19180011	国際社会と地域1	ヤップ [Cherry Amor Yap]	英語	春学期	木5 2 0 7

次ページ以降、授業科目区分ごとに開講授業の一覧を表示させるための選択項目の組み合わせを表にまとめています。科目検索の際、ご活用ください。なお、科目検索に際しては、入学時に配付された履修案内と照らし合わせながら行ってください。

Foundation Courses

■ Academic Literacy

[時間割検索時入力項目]

School	Subject Classification	
	Course Group & Course Classification	Detail
	(Level 1)	(Level 2)
Global Liberal Arts Program	Foundation Courses	Academic Literacy

Notes:

1. Academic Literacy course is a mandatory course for first year students. If you fail to acquire the Academic Literacy credit in the first year, take the course in the second year.
2. If a credit you earned elsewhere has been certified by the University as equivalent to the Academic Literacy credit, you do not have to take the course.
3. Take the course you are assigned to. The classes are divided depending on the category of the students (J1/J2/J3) you belong to.
4. J1/J2 students: Please register for Ishizawa Sensei's class (Thursday 1st period). J3 students: Please register for Holca Sensei's class (Thursday 5th period).

Liberal Arts Courses

[時間割検索時入力項目]

School	Subject Classification		
	Course Group	Course Classification	Detail
	(Level 1)	(Level 2)	(Level 3)
Global Liberal Arts Program	Liberal Arts Courses	Liberal Arts Courses	—
		Natural Science Courses	—
		General Courses on Japan	—
		Sports Courses	—
		World Language Courses	—
		Career and Collaboration Courses	—
		Onsite Education Courses	—

<受講に際しての注意事項>

■ World Language Courses

World Language Courses are offered to the second year students and above.

If you plan to take “Languages in Asia 1 (Title: The Brahui Language)”, please make sure to register for both “19180191” and “19180192”.

If you plan to take “Languages in Oceania and America 1 (Title: Nahuatl)”, please make sure to register for both “19180203” and “19180204”.

■ Sports Courses

- ・ 新年度開講時、スポーツ身体科目を履修希望する学生向けにガイダンスが開催されます。受講に際し参加が必須となる場合がありますので、大学ホームページや掲示を必ず確認してください。

■ Career and Collaboration Courses / Onsite Education Courses

- ・ 「キャリア・協働科目」や「臨地学修科目」を中心に、一部の科目においては学務情報システム上での履修登録に加え、担当教員の指示等により別途独自のフォームに登録が必要なものや、ガイダンスが開催される科目があります。シラバスや大学ホームページでの案内、担当教員からの連絡をこまめに確認してください。

■ 教養科目全般 (Simple English について)

The following courses are taught in simpler language than regular lectures in English. It is especially recommended to students who are not familiar with lectures taught in English only. Student performance is assessed by its content rather than the English language level.

時間割コード	科目名	担当教員	開講時期
19180006	国際社会と地域 1	森田 京子	春学期・金曜 4 限
19180020	国際社会と地域 2	森田 京子	秋学期・金曜 4 限
19180014	国際社会と地域 1	奥山 ルシンダ	夏学期・集中
19180078	文化と芸術 2	ティンダル	秋学期・月曜 2 限
19180120	日本の現在を知る 2	ヤン ズイー	秋学期・火曜 4 限

Language Courses

■ Fundamental Japanese Courses

〔時間割検索時入力項目〕

School	Subject Classification		
	Course Group	Course Classification	Detail
	(Level 1)	(Level 2)	(Level 3)
Global Liberal Arts Program	Language Courses	Fundamental Japanese Courses	—

■ Specialized Japanese Courses

〔時間割検索時入力項目〕

School	Subject Classification		
	Course Group	Course Classification	Detail
	(Level 1)	(Level 2)	(Level 3)
Global Liberal Arts Program	Language Courses	Specialized Courses on Japanese Language Skills	—

■ GLIP English Language Courses

〔時間割検索時入力項目〕

School	Subject Classification		
	Course Group	Course Classification	Detail
	(Level 1)	(Level 2)	(Level 3)
Global Liberal Arts Program	Language Courses	GLIP English Language Courses	—

English B7 and English B8 are offered to non-English major students who are taking courses in the Teacher Training Program to obtain an English language teacher's license.

国際日本学部 GLIP 英語科目の履修について

GLIP 英語科目（英語 A、英語 B、英語 C）を言語科目の一部として修得できます。原則として J1 生は **1 年次で英語 A を 8 単位、2 年次以降で英語 B を 6 単位**、J2 生は **1 年次で英語 A を 8 単位、2 年次以降で英語 B を 4 単位**、修得することとします。海外高校推薦入試により入学した学生（J3 生）のうち、基礎日本語 600 レベル履修可の学生は、希望に応じて GLIP 英語科目を履修することができます。その場合、J2 生に準じて単位修得することとします。英語が母語の学生は、基礎日本語 600 レベルが履修可の場合、上級レベルのクラスに限り、英語 A1/A2 を履修することができます。また、基礎日本語のレベルに関わらず 2 年次から英語 B1/B2 (Advanced): Academic Writing のクラスを履修することができます。各科目の詳細やクラス分けについては、別冊の『GLIP 履修ガイド』を参照してください。

Students in the School of Japan Studies can take GLIP English language courses (English A, B, and C) as part of the Language Courses requirement for graduation. In principle, J1 students should earn **8 credits from English A during the first year and 6 credits from English B from the second year onward**. J2 students should earn **8 credits from English A during the first year and 4 credits from English B from the second year onward**. J3 students, who have entered this university by High School Recommendation, and who are eligible to take the Fundamental Japanese 600-level classes, can choose to take GLIP English language courses if they wish. In such cases, J3 students should follow the guidelines for J2 students, which means earning 8 credits from English A during the first year and 4 credits from English B from the second year onward. J3 students whose native language is English and who are eligible to take the Fundamental Japanese 600-level classes can take English A1/A2 classes, but only at the advanced level. Regardless of their level in Japanese, students can take English B1/B2 (Advanced): Academic Writing classes from the second year onward. **For further information and class placement, see “GLIP Guide for Students.”**

英語 A / English A

J1 生/J2 生

1 年次から履修できます。1 年次で、英語 A を 8 単位（英語 A1/A2 : Production を 4 単位、英語 A3/A4 : Reception を 4 単位）履修することを目安とします。クラス分けについては、別冊の『GLIP 履修ガイド』を参照してください。

J1/J2 students

During the first year, students are strongly suggested to take 8 credits of English A (4 credits from English A1/A2: Production and 4 credits from English A3/A4: Reception). **For information regarding class placement, see “GLIP Guide for Students.”**

J3 生

基礎日本語 600 レベル履修可の学生は、希望に応じて GLIP 英語科目英語 A を履修することができます。その場合、J2 生に準じて、英語 A を 8 単位（英語 A1/A2 : Production を 4 単位、英語 A3/A4 : Reception を 4 単位）履修することを目安とします。履修するクラスは自由には選べませんので、履修を希望する学生は GLIP デスクまでお問い合わせください。

英語が母語の学生でも、基礎日本語 600 レベル履修可の学生は、上級レベルのクラスに限り、英語 A1/A2 を履修することができます。履修するクラスは自由には選べませんので、履修を希望する学生は GLIP デスクまでお問い合わせください。

3 年次編入生 (J3) で GLIP 英語の履修を希望する学生は、GLIP デスクまでお問い合わせください。

J3 students

Students who are eligible to take the Fundamental Japanese 600-level classes can enroll in GLIP English A classes if they wish. In that case, they are advised to take 8 credits of English A: 2 Production classes (English A1 and A2) and 2 Reception classes (English A3 and A4) in the Spring and Fall Quarters. Students cannot freely choose their classes, so those who wish to enroll should contact GLIP Desk.

Similarly, native English speakers who meet the eligibility criteria for the Fundamental Japanese 600-level classes may also enroll in advanced-level English A1/A2 classes. As with other students, they cannot choose their classes freely and should contact GLIP Desk.

Third-year transfer students who wish to take GLIP English language courses as part of the Language Courses requirement for graduation should contact GLIP Desk.

J1/J2/J3 生 共通

(※J3 生のうち、英語が母語で基礎日本語 600 レベル履修可の学生は除く。)

英語 A1/A2/A3/A4 は、英語 A として開講される Summer/Winter Intensive English や Summer English Immersion の単位でこれに代替することもできます。修得できる単位数の上限は、英語 A1/A2: Production 4 単位、英語 A3/A4: Reception 4 単位の計 8 単位までです。ただし、すでに上記の上限単位数まで英語 A を修得している場合であっても、夏学期・冬学期に英語 A として開講される Summer/Winter Intensive English や Summer English Immersion に限っては追加で履修することが可能です（言語科目の必修 30 単位の一部としてカウントされます）。他方、すでに上限数まで英語 A の単位を修得した状態で、春学期・秋学期に開講される英語 A を追加で履修することはできません。ただし、英語 A を上限数まで修得していない状態で、春学期または秋学期に複数の英語 A を履修することは可能です。その場合も、追加で修得した英語 A の単位は、言語科目の必修 30 単位の一部としてカウントされます。

J1/J2/J3 students

(※Please note: The information below does not apply to J3 students who are native English speakers and who are eligible to take the Fundamental Japanese 600-level classes.)

Instead of taking English A1/A2/A3/A4, students may choose to take English A classes offered as Summer/Winter Intensive English courses and/or Summer English Immersion. Students can earn up to 8 credits of English A in total: 4 credits of Production (English A1/A2) and 4 credits of Reception (English A3/A4). However, even if they have already earned 8 credits, they can take English A courses offered as Summer/Winter Intensive English or Summer English Immersion (The additional credits earned are counted as part of the 30 credits in Language Courses required for graduation.). On the other hand, students cannot take English A courses in the Spring/Fall Quarter if they have already earned 8 credits. It is possible, however, to take more than 2 English A courses either in the Spring or Fall Quarter as long as the total number of English A credits earned is less than 8. In this case, all the English A credits that students earn are counted as part of the 30 credits in Language Courses required for graduation, even if they exceed 8 credits.

英語 B / English B

J1 生

2 年次から履修できます。2 年次以降で、英語 B を 6 単位履修することを目安とします（英語 B1/B2/B3/B4 から 4 単位、国際日本学部専用に開講される英語 B5/B6 を 2 単位）。国際日本学部専用に開講される英語 B5/B6 をまず履修します。クラス指定に従って履修してください。学籍番号の末尾が奇数の学生は A クラス、偶数の学生は B クラスとします。さらに、英語 B1/B2/B3/B4 から 4 単位を履修します。

J1 students

From the second year onward, it is highly recommended that students earn a total of 6 credits: 4 credits from English B1/B2/B3/B4 courses and 2 credits from English B5/B6 courses exclusively offered to the School of Japan Studies. Students should prioritize enrolling in the English B5/B6 classes and follow the designated class assignments for these courses. Students whose student ID numbers end in an odd number should enroll in Class A, while those whose numbers end in an even number should enroll in Class B. In addition to English B5 and B6, earning credits from the English B1/B2/B3/B4 courses is strongly advised.

J2 生

2 年次から履修できます。2 年次以降で、英語 B を 4 単位履修することを目安とします（英語 B1/B2/B3/B4 から 2 単位、国際日本学部専用に開講される英語 B5/B6 を 2 単位）。国際日本学部専用に開講される英語 B5/B6 をまず履修します。クラス指定に従って履修してください。学籍番号の末尾が奇数の学生は A クラス、偶数の学生は B クラスとします。さらに、英語 B1/B2/B3/B4 から 2 単位を履修します。ただし、過去に英語 A5/A6 を履修し、英語 A を 10 単位修得している、または、英語 A を 10 単位修得見込みの場合には、英語 B を 2 単位（国際日本学部専用に開講される英語 B5/B6 を 2 単位）

履修することとします。

J2 students

From the second year onward, it is highly recommended that students earn a total of 4 credits: 2 credits from English B1/B2/B3/B4 courses and 2 credits from English B5/B6 courses which are exclusively offered to the School of Japan Studies. Students should prioritize enrolling in the English B5/B6 classes and follow the designated class assignments for these courses. Students whose student ID numbers end in an odd number should enroll in Class A, while those whose numbers end in an even number should enroll in Class B. In addition to English B5 and B6, earning credits from the English B1/B2/B3/B4 courses is strongly advised.

However, if students have previously completed English A5/A6 and, as a result, have earned or are expected to earn a total of 10 credits in English A, they will be required to earn 2 credits from English B, specifically through English B5/B6 courses.

J3 生

基礎日本語 600 レベル履修可の学生は、希望に応じて GLIP 英語科目英語 B を履修することができます。2 年次から履修できます。J2 生に準じて、英語 B を 4 単位（英語 B1/B2/B3/B4 から 2 単位、国際日本学部専用に開講される英語 B5/B6 を 2 単位）履修することを目安とします。

英語が母語の学生は、2 年次以降であれば、英語 A の単位修得状況と基礎日本語のレベルに関わらず、2 年次から英語 B1/B2 (Advanced): Academic Writing のクラスを履修することができます。英語 B1/B2 (Advanced): Academic Writing 以外のクラスは履修が認められません。また、このようにして英語 B1/B2 の履修を希望する学生は、履修登録手続きについて教務課記録係に問い合わせてください。

3 年次編入生 (J3) で GLIP 英語の履修を希望する学生は、GLIP デスクまでお問い合わせください。

J3 students

Students eligible for the Fundamental Japanese 600-level classes have the option to enroll in GLIP English B classes starting from the second year. It is highly recommended that they earn a total of 4 credits: 2 credits from English B1/B2/B3/B4 courses and 2 credits from English B5/B6 exclusively offered to the School of Japan Studies.

Native English speakers are allowed to enroll in English B1/B2 (Advanced): Academic Writing classes from the second year, irrespective of their level in the Fundamental Japanese courses or the credits earned from English A courses. Enrollment in other English B classes is not permitted. Students wishing to enroll in English B1/B2 should contact the Education Affairs Division for registration procedures.

Third-year transfer students who wish to take GLIP English language courses as part of the Language Courses requirement for graduation should contact GLIP Desk.

J1/J2/J3 生 共通

(※J3 生のうち英語が母語で英語 B1/B2 (Advanced): Academic Writing のクラスを履修可能な学生は除く。)

英語 B のうち英語 B1/B2/B3/B4 を履修するには、前年度までに英語 A を 3 単位以上修得している必要があります (以下の表を参照)。一方、英語 B5/B6 は、前年度までの英語 A の修得単位数に関わらず履修できます。英語 B1/B2/B3/B4 は、英語 B として開講される Summer/Winter Intensive English の単位でこれに代替することもできます。一方、英語 B5/B6 は Summer/Winter Intensive English の単位で代替することはできません。なお、3 年次以降に英語 B を履修する場合、英語 B1/B2/B3/B4 や Summer/Winter Intensive English の履修を推奨します。英語 B5/B6 は 2 年次での履修を推奨します。

また、英語 B7/B8 は教職課程の必修科目です。英語の教職課程をとっている学生は、英語 B7/B8 の単位を、言語科目の必修 30 単位に含めることができます。

英語 B1/B2 のうち、オンライン英語学習教材を使用する授業(オンライン・オンデマンド型英語 B1/B2) は、在学中に 2 単位まで修得できます。ただし、自分の英語力と異なるクラス、または、同一のオンデマンド教材を用いたクラスを履修した場合には、単位修得の対象になりません。

前年度までに修得した言語単位	2 年次以降で履修できる 英語 B1/B2/B3/B4 (※) の単位数	2 年次以降で履修できる 英語 B5/B6 の単位数
英語 A を 8 単位以上	年度ごとに 6 単位まで	前年度までの英語 A の修得単位数に関わらず 2 単位
英語 A を 3 単位~7 単位	年度ごとに英語 A の修得単位数から 2 を引いた数まで 例) 英語 A を 5 単位修得していれば、英語 B1/B2/B3/B4 は 3 単位まで履修可	
英語 A を 2 単位以下	履修不可	

※英語の教職課程をとっている学生の場合、「2 年次以上で履修できる英語 B1/B2/B3/B4/B7/B8 の単位数」となります。

J1/J2/J3 students

(※Please note: The information below does not apply to J3 students who are native English speakers and who are eligible to enroll in English B1/B2 (Advanced): Academic Writing courses.)

To be eligible to take English B1/B2/B3/B4 courses, students are required to have earned at least 3 credits from English A courses by the end of the previous academic year (see the table below). On the other hand, students may take English B5 and B6 in the second year irrespective of the number of English A credits earned. Instead of taking English B1/B2/B3/B4, students may choose to take English B classes offered as Summer/Winter Intensive English courses. On the other hand, students cannot take the Summer/Winter Intensive English courses instead of English B5/B6. Students who take English B classes in the third year or later are highly recommended to take either English B1/B2/B3/B4 or the Summer/Winter Intensive English courses. As for English B5/B6, it is highly recommended that students take these classes in the second year.

English B7/B8 are courses required to earn an English language teaching certificate. Students

who take Teacher Training Courses may include credits for English B7/B8 as part of the 30 credits in Language Courses required for graduation.

Students can earn up to 2 credits for Online and On-Demand English B1/B2 (courses using online learning materials) during the undergraduate years. However, students will not be eligible to earn credits if they take a course that does not match their TOEIC score or a course that uses the same on-demand materials.

Number of English A credit points earned by the end of the previous academic year	Number of credit points students may take from English B1/B2/B3/B4 from the second year onward*	Number of credit points students may take from English B5/B6 from the second year onward
8 credits or more	Up to 6 credits in one year	2 credits (irrespective of the number of English A credits earned)
From 3 to 7 credits	The number of English A credits earned <u>minus 2</u> in one year (e.g., Students who have earned 5 credits of English A by the end of the previous academic year may take up to 3 credits of English B1/B2/B3/B4)	
2 or less credits	None	

*This table shows the number of credits that students taking Teacher Training Courses may take from English B1/B2/B3/B4/B7/B8 from the second year onward.

英語 C / English C

3年次から履修できます。年度ごとに最大4単位履修できます。履修のための要件はありません。

Students may take English C courses from the third year onward. Students may take up to 4 credits in one year. There is no prerequisite to taking English C courses.

GLIP Desk: glip[at]tufs.ac.jp

■ Foreign Languages Courses

[時間割検索時入力項目]

School	Subject Classification		
	Course Group	Course Classification	Detail
	(Level 1)	(Level 2)	(Level 3)
Global Liberal Arts Program	Language Courses	Foreign Languages Courses	German
			French
			Italian
			Spanish
			Russian
			Chinese
			Korean
			Arabic
			Portuguese

■ Regional Languages Courses

[時間割検索時入力項目]

School	Subject Classification		
	Course Group	Course Classification	Detail
	(Level 1)	(Level 2)	(Level 3)
Global Liberal Arts Program	Language Courses	Regional Languages Courses	—

[Students who entered TUFS in and after AY 2019]

Registration Guide for Foreign Language Courses Other Than English

- You can register for up to 4 credit points per year for each language.
- You can take A and B courses in any combination, but you are not encouraged to start A and B courses at the same time if you have no experience of learning the language before.
- If you take Foreign Language Courses as required credits for graduation, at least 2 credits of B must be included.

☆ **German (Coordinator: NISHIOKA Akane)**

For German A courses, take a combination of either "Grammar" & "Integrated" or "Grammar" & "Conversation" classes.

☆ **French (Coordinator: TANABE Yoshimi)**

For French A (Beginner level) courses, take one or more "Grammar" classes. (While failing to take a 'Grammar' course will not invalidate credits earned in other French courses, we strongly recommend taking a "Grammar" course alongside them for educational effectiveness.)

French B (Advanced level) courses assume the proficiency level of those who have completed French A (Beginner level). If the same instructor teaches consecutive courses in the spring and fall semesters, the fall semester course may build upon the material covered in the spring semester. Since the focus and direction of the course may vary depending on the instructor, please read the syllabus carefully and attend the first class to ensure you fully understand the course content before enrolling. Please note that while there are four course names within the A-level series (A1–A4), these numbers are for convenience only and do not indicate different proficiency levels. You are free to combine these courses as you wish.

☆ **Italian (Coordinator: ODAWARA Rin)**

For Italian A courses, the same contents will be taught in classes held on the same day, both in the Spring and Fall Quarters. As Wednesday and Friday classes are dependent on each other, take one of the classes from each day (e.g. a combination of "Wednesday 3th period and Friday 4th period" or "Wednesday 4th period and Friday 5th period" classes, etc.). Since the Spring courses are a prerequisite for the Fall courses, take Spring and Fall courses sequentially if you have never studied Italian before. In this case, you do not have to take the same combination of days/periods of classes in the Spring and Fall Quarters (e.g. you may take Tuesday 4th period and Friday 4th period classes in the Spring, and Tuesday 5th period and Friday 5th period classes in the Fall).

Italian B courses assume the proficiency level of those who have completed Italian A (Spring and Fall) courses. As the contents of Italian B courses are independent of each other, you may take Wednesday (conversation) and/or Friday (grammar) classes.

☆ **Spanish (Coordinator: UCHIYAMA Naoko)**

There are no differences in difficulty level among Spanish A1, A2, A3, A4 courses. You may take these courses in any combination. Read the syllabi carefully and understand the course contents when choosing a course. As the instructor might conduct a lottery or selection to limit the number of students who can register for the course, be sure to attend the first lesson. If you wish to take more than one class in the same semester for A level, you must take classes with different content. In principle, attend the classes taught by the same instructor in the Spring and Fall Quarters.

☆ **Russian (Coordinator: TATSUMI Yukiko)**

- (1) Russian A1/A2 (Tuesday 5th period) and Russian A3/A4 (Friday 4th period) depend on each other and use the same textbook. Take both courses in the same year.
- (2) Russian B1, B2, B3, B4 courses assume the proficiency level of those who have completed Russian A1/A2/A3/A4. The courses are organized to have the best learning effect when taken in the order of A1 and A3 first, then A2 and A4, then B1 and B3, and finally, B2 and B4.

☆ **Chinese (Coordinator: KURATA Akiko)**

- (1) The Chinese courses include: Chinese A1/A2 (Grammar, Beginner level), Chinese A3/A4 (Conversation, Beginner level), Chinese B1/B2 (Conversation, Advanced level), and Chinese B3/B4 (Reading comprehension and Super B, that is, Advanced level Conversation). Choose courses in different categories. Avoid taking more than one class in a single category as the classes with the same Subject title use the same textbook and teach the same contents, even if they are taught by different instructors in different time periods (Exception: Chinese Reading comprehension and Super B use different textbooks).
- (2) For those who are learning Chinese for the first time, the courses are organized to have the best learning effect when taken in the order of A1 and A3 first, then A2 and A4, then B1 and B3, and finally, B2 and B4. One textbook is used for A1 and A2, one for A3 and A4, one for B1 and B2, and one for B3 and B4.

☆ **Korean (Coordinator: IKARASHI Koichi)**

	Mon.		Tue.		Wed.		Thu.		Fri.	
	Beginner	Intermediate	Beginner	Intermediate	Beginner	Intermediate	Beginner	Intermediate	Beginner	Intermediate Advanced
3					Hando					
4	Ikarashi	Ohe	Kokubun, Kim		Hando, Yorita	Tomidokoro	Chong		Hando, Son	Han (Intermediate)
5	Ohe		Kim		Tomidokoro, Yorita		Chong		Hando, Son	Han (Advanced)

- (1) When courses are taught by one instructor on the same day in a row, take only one of them.
- (2) As for beginners, take one or more courses taught by native speakers of Korean (Prof. Ohe on Mondays, Prof. Kim on Tuesdays, Prof. Chong on Thursdays and Prof. Son and Prof. Han on Fridays) and one or more courses taught by Japanese instructors (Prof. Ikarashi on Mondays, Prof. Kokubun on Tuesdays, Prof. Hando, Prof. Yorita and Prof. Tomidokoro on Wednesdays).
- (3) Korean A courses are for those who are learning Korean for the first time, while Korean B, the intermediate courses, are for those who finished the beginner courses. The advanced courses are targeted at students aiming to achieve more advanced proficiency levels.

☆ **Arabic (Coordinator: AOYAMA Hiroyuki)**

- (1) For Arabic A courses, take one "Grammar" class per quarter and one "Reading, Conversation, Writing" class per quarter; that is, a total of two classes per quarter. For Arabic A courses, two classes of "Grammar" and "Reading, Conversation, Writing" are offered in each quarter. Be sure to attend the first lesson, as the instructor might adjust the number of students if there is a big difference in class size between the two classes.
- (2) For Arabic B courses, take two "Reading, Conversation, Writing" classes per quarter.

☆ **Portuguese (Coordinator: MIZUNUMA Osamu)**

Portuguese A classes on Monday 4th period and Thursday 4th period are for beginners. As for Grammar for Beginners, take Portuguese A1 (Monday 4th), and A3 (Thursday 4th) in the Spring Quarter, and A2 (Monday 4th) and A4 (Thursday 4th) in the Fall quarter in this order since these classes have consecutive contents. As Portuguese A1 and A3, A2 and A4 classes are related, be sure to take both classes at the same time. As for Portuguese B courses, you may take any classes according to your needs and interests since they are independent elective courses.

Project-Based Courses

[時間割検索時入力項目]

School	Subject Classification		
	Course Group	Course Classification	Detail
	(Level 1)	(Level 2)	(Level 3)
School of Japan Studies	Project-Based Courses	Collaborative Projects	—
		<ul style="list-style-type: none"> • Community Linkage Programs(2019～2023) • Community Linkage Program(2024～) 	—

Introductory Courses

[時間割検索時入力項目]

School	Subject Classification	
	Course Group & Course Classification	
	(Level 1)	
School of Japan Studies	Introductory Courses (School of Japan Studies)	

Survey Courses

[時間割検索時入力項目]

School	Subject Classification	
	Course Group & Course Classification	
	(Level 1)	
School of Japan Studies	Survey Courses (School of Japan Studies)	

Major Courses

[時間割検索時入力項目]

School	Subject Classification	
	Course Group	Course Classification
	(Level 1)	(Level 2)
School of Japan Studies	Major Courses (School of Japan Studies)	Lecture Courses (School of Japan Studies)
		Seminar Courses (School of Japan Studies)
		Research Seminar Courses (School of Japan Studies)
		Graduation Projects (School of Japan Studies)